

一般肺機能検査

肺活量（VC : Vital Capacity）と努力性肺活量（FVC : Forced Vital Capacity）の検査を行います。呼吸器疾患患者のみでなく、全身麻酔下で行う手術の術前検査など呼吸器疾患のスクリーニング検査としても行います。

検査中は鼻をノーズクリップでつまみ、呼吸用の管をくわえ、口だけで呼吸をします。技師が呼吸の合図をだしますので合わせて呼吸を行います。何回か行い、一番良い結果を選択します。少ししんどい検査ですが、一緒に頑張りましょう。

1. 肺活量（VC : Vital Capacity）

肺活量（肺に出入りする空気の量）を測定する検査です。

体格などにより肺の大きさは人それぞれ違います。

年齢・性別・身長により予測値を算出し、予測値に対する実測値を%（予測値%）で表示します。

検査方法

1. 鼻をノーズクリップでつまみ、呼吸用の管を口にくわえます。
2. 安静換気をしばらく行います。
3. 安静吸気位から胸の空気を全部吐きます。
4. 吐ききったら胸いっぱいまで吸い込みます。
5. 胸いっぱいになったら、もう一度全部吐ききります。



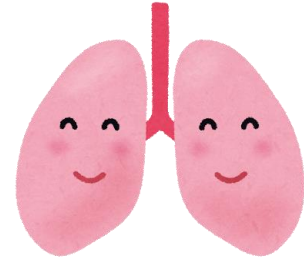
2. 努力性肺活量（FVC : Forced Vital Capacity）

胸いっぱい吸い込んだ空気を勢いよく吐き出し、最初の一秒間に吐き出した量を調べることで閉塞性換気障害の有無や程度を見ます。

勢いよく吐いたときの肺活量の測定を同時に行います。

検査方法

1. 鼻をノーズクリップでつまみ、呼吸用の管を口にくわえます。
2. 安静換気を行います。
3. 最大吸気し、最大限の力で一気に早く最後まで吐き出します。
4. 吐ききったら、勢いをつけて吸気します。



検査時の注意点・お願い…

- ✚ 検査時の姿勢や患者様の努力により結果は大きく変わります
- ✚ 背筋を伸ばして姿勢よく座り、よりよい結果をだせるよう一緒に頑張りましょう。
- ✚ 予約時間に遅れないよう来院して下さい。
- ✚ 気分が悪いようなことがありましたら、技師にお伝えください。

検査時間

約 15 分（VC+FVC セット）